『チキン＆エッグ』　作：岩本憲嗣

■登場人物

　村山冨士雄（ムラヤマフジオ・５０歳・♂・鳥料理店店主）

　村山華代（ムラヤマカヨ・１７歳・♀・村山の娘）

　村山尚美（ムラヤマナオミ・３９歳・♀・冨士雄の妻）

　大庭健人（オオバケント・４１歳・♂・ＩＴ企業社長）

　熊野次郎（クマノジロウ・５２歳・♂・商店会会長）

　加藤八子（カトウハチコ・４９歳・♀・焼肉店店主）

　久保純一（クボジュンイチ・３２歳・♂・大庭の秘書）

○鳥料理店村山・外観

　　人通り少ない商店街に建つ古びた店舗。木製の看板には鳥料理店村山の文字。

○同・店内

　　レジ近くに置いてある黒電話が鳴る。村山冨士雄（５０）が億劫そうに受話器をとる。

村山　　はい村山です、え、いや今やってないんです。ちょっと……女房が体壊してね。

　　村山、受話器を置くと。すぐに再び電話が鳴る。

村山　　はい、村山です、あぁ、ちょっとね……うん、ギックリ腰やらかしちゃって休業

　　　　中なんです。また宜しくお願いします。

　　村山、受話器を置くと座敷席に大の字に横になる。大きなため息。

　　村山華代（１７）が大きなキャンパスの入った袋を抱えてやってくる。

華代　　もう、いつまで腐ってるの？どうせ毎年の恒例行事じゃない。

村山　　華代か。なんだ、夏休みなのに学校行くのか？

華代　　うん、ほら受験生だしね。お父さんも寝てばっかじゃ駄目だよ！

　　　華代が扉を開けて出て行く。入れ替わりに熊野次郎（５２）がやってくる。

熊野　　ようフジちゃん、今日も寝てるのかい。

村山　　ん？熊さん？どうしたんです？

熊野　　いやぁ～、ちょっとお願いがあってね。

　　熊野、村山の寝ている座敷に座る。

熊野　　なんだ？今年の夏休みは随分早くて長いな、もう２週間くらい店休んでるか？

村山　　……よく覚えてないです。

熊野　　なんだよ、いい歳して何いじけてやがる。夏になったら恋に落ちる。尚美ちゃん

　　　　毎年そうじゃないか。心配するな。

村山　　去年は４日、一昨年は６日、その前は３日で飽きて帰ってきました。

熊野　　じゃ今年は明日にでも帰ってくるよ。

村山　　もうその話はいいですから、で、お願いってなんですか？

熊野　　いやね、雑誌の取材が入っちゃったんだよ。『特集・高層ビル街の人情商店街』だ

　　　　ってよ。

村山　　へぇ、良かったじゃないですか。

熊野　　良かないよ、ウチの商店街でよそ様に自慢出来る店なんてフジちゃんとこくらい

　　　　しかねぇんだから。

村山　　加藤さんとこの焼肉は？

熊野　　全国に恥を晒すつもりか？だからさ、そろそろ店再開してくれよ。ちょっとした

　　　　名物だろ？村山の親子丼っていったら。

村山　　再開？……時期が来たらします。

熊野　　フジちゃ～ん。……とにかく遅くとも今週中には頼むよ。なんてったって相手は有名誌の東京ライフだからね。

　　村山、横になりながら力なく頷く。

○コンビニエンスストア

　　東京ライフを立ち読みしている華代。

　　華代の腕は絵の具で汚れている。華代、本のページをめくった瞬間固まる。

華代　　はぁーーーーーーーーーーー！？

○オオバインターナショナル本社・社長室

　　村山尚美（３９）が社長の椅子に脚を投出し座っている。

　　沢山の書類を抱えた久保純一（３２）がやってくる。

尚美　　ねぇ僕ぅ。ケンちゃんまだぁぁ？

久保　　ぼ、僕って……社長は今日の午後の便でお戻りになられると……。

尚美　　えぇ！？じゃぁあたしご飯どうするの？一人？一人？

久保　　なにか持ってこさせましょうか？食べたいもの行って下さればなんでも……。

尚美　　本当？じゃぁね……たまには和食！

久保　　和食？あぁ……そうだ、近所に美味しい店一軒知ってます。そこでいいですか？

尚美　　もうなんでもいいからお願い！！

久保　　ったく一体社長もなんでこんな人を……。

　　久保、携帯を取り出し電話をかける。

○鳥料理村山・店内

　　黒電話が鳴る。受話器をとる村山。

村山　　はい、え？出前？出前も何も今店自体やってないんですよ。すみませんね。

　　電話を切る村山。華代が勢いよく扉を開けて帰ってくる。

華代　　お父さん！！

村山　　ん？どうしたそんなに慌てて。

華代　　いた！お母さん見つけた！！

　　華代、座敷に東京ライフを広げる。そこには大庭健人（４２）の脇で高級そうな猫を

　　抱えて微笑む尚美の写真。「今急成長のＩＴベンチャー・オオバインターナショナルの

　　成功の秘密に迫る」の見出し。

華代　　なかなか帰ってこないと思ったら……お母さん何やってるんだろう？

村山　　おいおいこの顔……なんだよ今更。

　　村山、写真の下に書かれた「社長・大庭健人氏」の文字をじっとみつめる。

華代　　お父さん？

　　村山、東京ライフを取って店を出る。

○焼肉加藤苑・店内

　　居酒屋風の店内。壁中に韓国スターの写真が無造作に貼られている。

　　焼き網を挟んで座る熊野と村山。酒瓶が何本も空いている。

熊野　　フジちゃんも真昼間からよく飲むな。

村山　　たまの自棄酒くらい付合って下さいよ。

熊野　　いや、しかし驚いたよな、まさか今年のお相手は運命の恋敵、しかも社長とは。

　　加藤八子（４９）が酒瓶をもってくる。

加藤　　酒ばっかり飲んでないで肉頼んでくれよ！ウチは焼肉店なんだよ！

熊野　　韓国ドラマに毒されて始めたなんちゃって焼肉店の間違いだろ。

　　加藤がテーブルに広がっている東京ライフを覗き込む。

加藤　　あれれ？ちょっとこのソース顔！！

熊野　　そう、昔うちの商店街にいたイタリア料理屋の息子、フジちゃんの恋敵だった…。

加藤　　そうそうアホの大庭！コイツ陰気で大嫌いだったのよ。

熊野　　その写真よくみてみろ。

加藤　　え？えぇー！？尚美ちゃん？何で？

熊野　　今年の夏休みのお相手。

加藤　　あ、あはは、ちょっとこれはショックよね。昔の恋敵の元に……ねぇ。もうこの

　　　　際だから目には目をで村山さんも浮気しちゃえば？

村山　　嫌ですよ。それより加藤さんがそのユン様だかヤン様ってのとと浮気したらいい

　　　　んじゃないですか。

加藤　　それは駄目よ、どうせなら浮気じゃなく結婚を……あ、駄目だ。

熊野　　どうして？

加藤　　あたしこの人と結婚したら名前がペ加藤よ、まるでコントじゃない。

熊野　　おい、それ両方とも苗字だろ。

　　　　　大笑いする熊野と加藤。

村山　　……はぁ、少し夜風に当たってきます。

　　席を立ち店を出る村山

加藤　　ちょ、まだ真昼間だよ！

○商店街

　　人通り少ない商店街を歩く村山、猛スピードの真っ赤なフェラーリがやって来て止ま

　　る。窓が開き尚美が手を振る。

尚美　　おひさぁ～。ちょっとお話したいんだ。

○イタリア料理店・店内

　　隣合う尚美と大庭。向いに座る村山。３人の前には山盛りの豪華料理。

大庭　　ははは、久しぶりフジちゃん、知ってた？僕社長になっちゃったの。ははは。

村山　　どういう料簡だ、人の女房連れ回して。

大庭　　人聞き悪いな……さ、尚美ちゃん。

尚美　　ごめん別れて、やっぱり私、お金持ちの旦那と本当の親子で生活したい。

村山　　なっ……お前何言い出し……。

尚美　　実はね…さっき店に行って話しちゃったの華代に、本当のお父さんのこと。ねぇ。

大庭　　さすが僕のＤＮＡ。可愛かったぞぉぉぉぉ！！！

　　大庭、ムキになってフォークでパスタを巻き続ける

村山　　華代を育てたのは俺と女房だ、捨てて逃げた人間が口出すな。

尚美　　でも血が繋がってるのは大庭さん、あなたに華代を美大に行かせるお金あるぅ？

　　　　華代の将来考えたら鳥料理屋よりＩＴでしょぉぉ？

　　村山、カッとなり手元の水を一気に飲干すと叩きつけるように置く。

○鳥料理屋村山店内・（夕）

　　座敷に大の字のなっている華代。村山が帰ってくる。飛び起きる華代。

華代　　おかえり！！ゴメンご飯今から作るね。

村山　　作らなくていい。……久しぶりに父さんが作ってやる。何食べたい？

華代　　本当？だったら……決めた。村山の一番人気メニュー。

村山　　そうか……。

　　　×　　×　　×

　　華代の前に親子丼を出す村山。

村山　　華代。そのだな………最後の晩餐だ。

華代　　え？

村山　　さっき母さんと話した。本当の親子で暮らした方がいい。そうしなさい。

華代　　………。

村山　　ずっと黙ってて悪かった。

華代　　……別に、だって顔全然似てないじゃん。

村山　　そうだな……お前は派手な顔立ちだけど父さん地味で華のない顔だしな。

華代　　違うって、そういうのは醤油顔っていうの。格好いいんだよ。

村山　　……そうか、物は言いようだな。

華代　　そうだよ。わかった？

　　しばらく二人の間に沈黙が流れる。二人とも食事には手をつけようとしない。

村山　　……冷めるぞ……食べたかったんじゃないのか？親子丼。

華代　　………ねぇ一つ聞いていい？親子丼って何で親子丼っていうの？

村山　　……そりゃ鶏と卵で丼だし……。

華代　　でも、この鶏が産んだ卵じゃないよ。

村山　　それでも親子丼は親子丼なんだ。

華代　　じゃぁ私達もそれでいいじゃん、ね。

村山　　え？………い、いやしかし。

華代　　いいの、お父さん。

村山　　……でも、でも、美大はどうする？やっぱり大庭の娘になった方が……。

華代　　絶対嫌だよ、だって大庭さんの娘になったらさ……。

村山　　いいことだらけ……だろ。

華代　　ううん、名前が大庭華代（大馬鹿よ）になっちゃうよ。

村山　　お前……そうだな。

　　華代、親子丼をめいっぱいにかきこむ。それを愛しそうにみつめる村山。

　　【終】

※ご利用上の注意※

・本脚本はどなたでも無料にてご利用いただけます。

・ご利用に当たっての改変などに制限は設けておりません。皆様のご都合に応じて自由に改変頂いてかまいません。

・本脚本をご利用頂く際は必ず作者（gumba1227@hotmail.com）までご一報頂けますようお願い致します。

・但し、練習での使用などの場合はご連絡の必要はございません。

・連絡が必要かどうかの基準は以下の通りでございます。

　※連絡不要の場合

　　・仲間内で集まっての練習でのご利用。

　　・Skypeなどを介しての第三者の聴取・視聴が出来ない形でのご利用。

　※連絡が必要となる場合

　　・ツイキャスやニコ生など第三者の聴取・視聴が可能な状況下でのご利用。

・連絡を要する形でのご利用の際は、必ず作品名・作者名をどちらかに記載いただけますようお願い致します。

　その他ご不明な点ございましたらお気兼ねなく下記までご連絡下さい。

　gumba1227@hotmail.com（岩本）